

(六)永保社の問題(続々)

井戸村の野口惣五郎(前戸長)、井戸村共救社出牛重郎左衛門(戸長)ら六人の大野新吉(苗吉父)ら風布村民十三人への貸金は532円、永保社の大野新吉ら風布村民十二人への貸金は682円

新連載 皆野町の秩父事件⑨

50銭(大野福

次郎所持「借用

金名簿」「質入

品高品数記)。

これは188

4年10月頃

の貸借金額で

す。秩父事件資

料にこの記録

が残ったこと

は貴重なこと

ですが、前回述

べたようにこ

れのみでは貸

借の実態は分

かりません。

『持田日記』

刊行によって永保社の貸し出しの実際的一端が分かるようになりました。

①1883年2月28日持田鹿之助外一名は地券証180円

を抵当に年利1

5%・同年7月末限

りで165円を借

入れましたが、その

際「分合金」11円

35銭を含む11

円87銭を控除さ

れ153円13銭

を受け取りました。

②同年7月31

日利子12円37銭5厘(15%

の約定どおり)を支払いましたが、

借用時控除された11円87銭

を加えるとこの間の実質金利は

17.4%となります。

③同年8月31日証書を20

0円・翌年1月31日限りに書替

え、一ヶ月分利子2円50銭と

「分合金」を含む5円2銭5厘を

控除され27円47銭5厘を受

け取りました。24.8%の実質

年利になります。

④1884年3月10日、一月

末までの利子15円・一月末以降

の延滞利子65銭と「前利」2円

50銭・日当旅費80銭の合計1

8円95銭6厘を支払いました。

日当旅費は貸主が借主の村戸長

に奥印を貰いに行く費用ですが、



山田惣太郎(いたろう)の墓

貸主費用と考えられますので「前利」同様金利に上乗せて計算するとこの間の実質年利子は19.9%になります。

以上から、(1)地券証額面に対する融資金額の割合は92%である(当時の銀行は80〜70%程度)。(2)切り金は行われているがその割合は低い。月縛りはない。(3)実質金利は利息制限法を1.4倍程度越えていることが分かります。

『持田日記』では証書書換えや利子の支払いに自ら借主が出向いています。永保社員の対応にも特に高圧的な言動はなかったようです。

一例のみで判断するのは早計かも知れませんが、永保会社は「高利貸」・「悪徳高利貸」ではな

く規模がやや大きい一般的な金融業務をしていた「生産会社」だったと結論づけておきます。

「柴岡ゆうま」を 困りでの集い

日本共産党皆野町後援会主催

秩父郡市地域の次期衆議院選の若き予定候補となった柴岡ゆうまさんを囲む集いを7/15「カフェアトラス」で11人の参加で開きました。ケーキセットを食べながら、まずは柴岡さんの熱き思いに耳を傾けました。消費税増税は弱者ほど負担が重い、消費税に頼らず財政危機打開の道はある、下請けや中小零細企業・労働者に適正な賃金・価格を保証すれば内需が拡大する、税収も上がる、富裕層や大企業に応分の税負担をお願いするなど、世界の流れや比較も出しながら“よく勉強してるね”と声がかかると、柴岡さん自身も話で話して、これからは身近なところで“集い”を開いていきます。お気軽にご参加ください。

新米議員のひとりごと

常山 知子

毎日暑いですね。我が家はエアコンがないので、扇風機・うちわと、開けられる窓は全部開けて風を呼んでいます。この状態で今年の夏も乗りきろうと思っ

す。実はエアコンが苦手です。都内の郵便局で働いていた頃、夏はガンガンに冷えた窓口に座って仕事。おかげで身体がすっかり冷えてしまったのです。

想像してください！郵便局や銀行、スーパーに入って行くと涼しさに救われることを!!冬より厚着をして働きましたが、この時期、いまでも靴下をはいていないと寒いのです。それでも現在は自然体で汗を出して、身体が喜んでいます。

でも、熱中症など具合が悪くならないよう、少しの冷房は必要と言われています。それを上手に使用して、この暑い夏を乗りきりましょう。

